

山梨県議会議員

# 遠藤ひろし

## 地域振興と県政発展

県議会議員 遠藤浩の信条は、「地域の振興は、県政発展の基礎。」

直面する課題解決に対して真摯に取り組んでいます。

歴史に学び、先人を敬う政治は、新たな課題に対しても柔軟な対応をいたします。

遠藤ひろし県政報告

第19号

2018年1月26日 発行

山梨県議会基本条例 第20条2項の規定に基づき発行しています。

発行者 遠藤浩事務所

発行責任者 遠藤浩

西八代郡市川三郷町市川大門1568-1

TEL/FAX 055-272-0330



### 西八代/南巨摩が合区

次期、統一地方選挙(平成31年4月施行)  
より合区で選挙が執行されます。



中部横断道開通などにより発展が期待されている峡南地域は、今後の取り組みにより観光やサービス業等の今まで希薄だった産業が芽吹き、人や物の交流が活発になり活性化へ向かう可能性と潜在力ある地域です。

県議会議員として、峡南地域の協調発展のため、幅広く多様な活動が求められていると思います。西八代郡の皆様におかれましては相変わらずお願いを申し上げ、南巨摩郡の皆様におかれましては、以後よろしくお見知りおき賜り、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

地域の振興は県政発展の基礎。「地域振興と県政発展」が達成できますよう取り組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

西八代郡、南巨摩郡にお住いの皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

今般の山梨県議会12月定例会において、次の県議会議員選挙から西八代郡と南巨摩郡が一つの選挙区となり議員定数を3人に、甲州市選挙区の定数を削減して一人とする事が決りました。

ごあいさつ



平成29年度12月定例県議会 一般質問のために登壇する遠藤浩県議

# 12月県議会

## 注目の内容

- ・山梨県議会の議員の定数、選挙区等に関する条例改正
- ・地域安全強化緊急対策事業（河川維持修繕/道路修繕）
- ・国民健康保険制度改革

12月定例県議会、一般質問のようす。  
(平成29年12月 県議会)



12月定例県議会は、12月4日に開会し18日まで14日間の会期でした。

県議選における選挙区間の一票の格差は、2倍に近く格差是正に取り組む状況下であります。今回の改正で、合区となる峡南地域は、県土の1/5の面積を有する広大な選挙区となる事などから地域の特性を考慮して議員の定数を3人としたものであります。また、県は全国的な豪雨被害の状況を踏まえ、河川や道路について緊急点検を実施、緊急に防災対応や安全安心の強化を図る必要と判断した箇所を対象に県単独公共事業（6ページ参照）を実施します。

さらに、明年度から県が財政運営の主体を担う国民健康保

険制度は、必要な条例の制定を行い円滑な制度移行を目指しています。

議員数				
38人		⇒	37人	
選挙区における議員の数				
西八代郡	1人	⇒	西八代郡・南巨摩郡	3人
南巨摩郡	2人	⇒	甲州市	1人
甲州市	2人	⇒	甲州市	1人

山梨県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例中改正の内容



リニア山梨新駅を中心に検討されている「リニア環境未来都市」



総合案内コーナーイメージ



ショッピングイメージ



レストラン・カフェイメージ



イベントホールイメージ



総務委員会のようす。(平成29年12月 県議会)

## 総務委員会

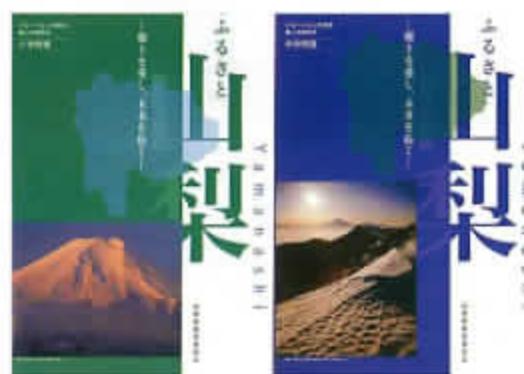
総務委員会は、リニア中央新幹線や総合球技場などビッグプロジェクトが差し迫る中、現実的な議論が活発に行われました。

リニア中央新幹線用地取得事務受託事業の継続明許費については、計画のスケジュールに遅れが生じないよう、効率的に用地取得を進めていく事が確認され、総合球技場についても県民への説明責任を果たし合意形成に務めるよう議論が交わされました。

## 遠藤浩県議の一般質問項目一覧

- ・小中学校における郷土学習の推進
- ・家庭の教育力向上
- ・地域おこし協力隊の更なる推進
- ・地域創生連携会議の取り組み
- ・女性消防団員の加入促進に向けた取り組み
- ・災害時における心のケア対策の推進
- ・商店街の活性化
- ・起業・創業への資金面での支援策
- ・ベトナムトップセールスにおける取り組みと成果

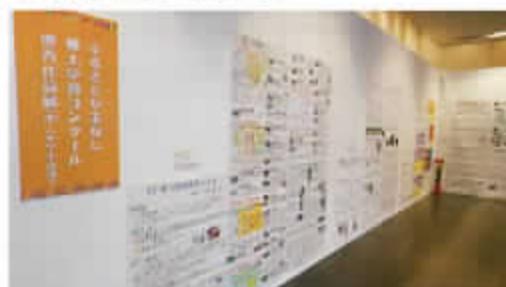
## 郷土学習の推進



若年層の転出抑制に向けた取り組みです。山梨の魅力を伝える小中学生向け郷土学習教材をリニューアルしました。

次代を担う子どもたちが、生まれ育った郷土に誇りや愛着を持ち、自らの夢や希望を掲げ、たくましく育っていくよう努める事は、県民共通の願いです。

「やまなし教育大綱」において、郷土の歴史や文化に対する理解を育むことを掲げています。そのためには、ふるさとである山梨県への关心を高め、郷土に対する誇りと愛情を育てるようにする事が大切です。

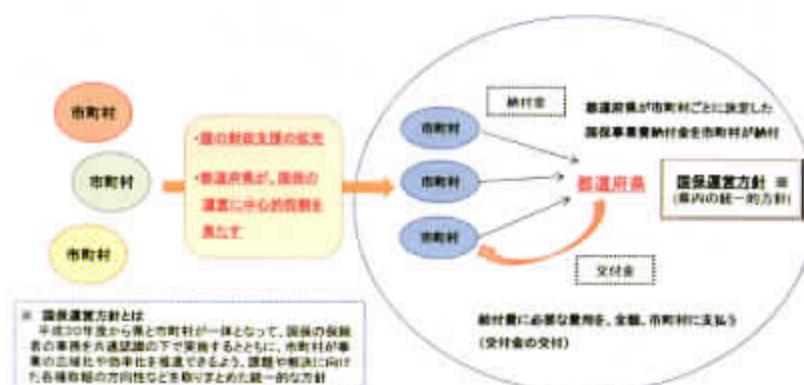


郷土学習の成果が展示されている県立博物館ロビー。  
(展示は、2月26日まで、見学無料)

## 国民健康保険制度改革

【現行】市町村が個別に運営

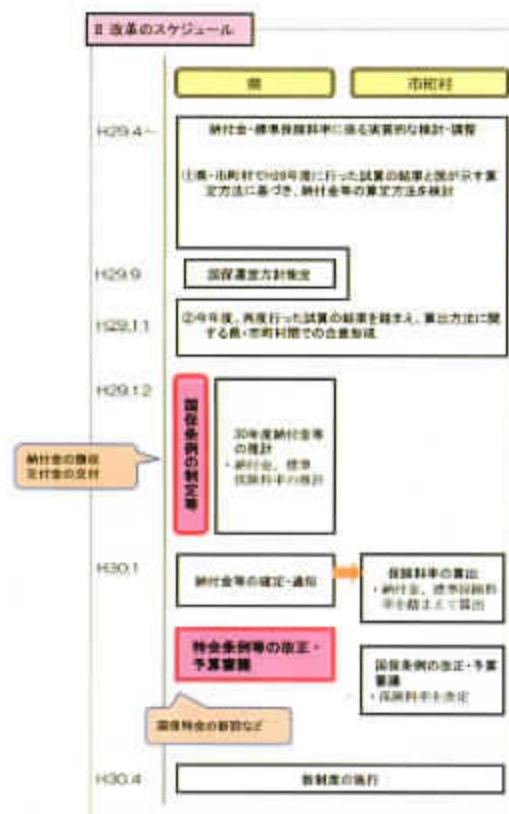
【改革後】都道府県が財政運営責任を担うなど中心的役割



市町村単位で運営をしてきた国民健康保険制度は、財政が不安定になる事や市町村間での医療費や所得水準が異なり格差が生じる構造的な課題がありました。

**国民皆保険制度**の実現として安定的な運営を図るために、平成30年度からは県が財政運営の中心的な役割を担います。

(※**国民皆保険制度** すべての国民が何らかの公的医療保険に加入し、お互いの医療費を支え合う制度。)



県は、新制度に移行した場合、大きな変動が起こらないよう市町村ごとの納付金の推計を行いました。

国の財政基盤強化を図る財政支援の効果が表れ、19団体で減額となるものの8団体が増額となり、公費活用による財政措置を実施する事により、全ての市町村で納付金の増加はありません。

平成30年1月には、市町村に納付金額を示し個々の被保険者が市町村に納める保険料(保険税)が定まります。

国民健康保険制度を将来にわたって持続可能な制度としていくためにも県と市町村が連携した事業の推進が重要です。

## 家庭の教育力向上

「非認知能力」は、全ての教育の出発点である家庭においてこそ積極的に培うべきものだと思います。「非認知能力」を高めるためにも、保護者が、幼児期から積極的に子どもの教育に関わる事で、更なる、家庭の教育力向上が期待されます。



人間の  
総合力

本県の「非認知能力」は全国トップクラス

アクティブ・ラーニングは、「非認知能力」を身に付けることで、より深い学びが実現できます。



平成28年11月に県議会教育厚生委員会で調査した市川高校でのアクティブラーニングの授業のようす。

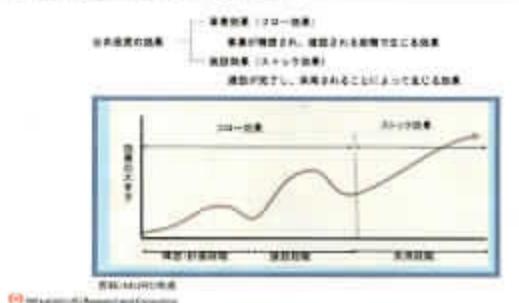
## 地域の活性化



およそ20年で都市化された  
佐久平駅(長野新幹線と小海線)周辺



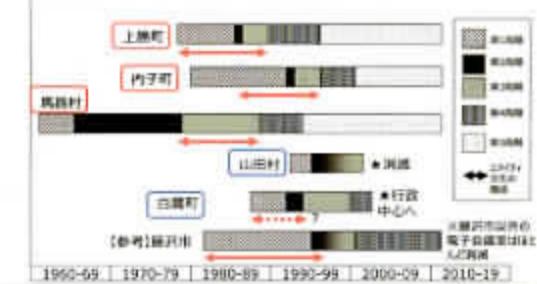
### (1) 公共投資がもたらす効果とは



公共投資の効果は、供用されてからの効果が大きいとされています。

### 成功事例におけるエクイティ文化の醸成は?

- ・成功事例における醸成期間はいずれも10年以上
- ・醸成期間は第3段階より前から始まっている



しっかりととした地域内の議論が整備効果を引き出すポイントです。

### 長野オリンピック(平成10年)

峡南地域では、中部横断道の全線開通が、人やモノの流れの活発化をもたらし、多くの来訪者が立ち寄ることで、地域全体の活性化が期待されます。

インフラ整備だけでなく、その地域に集客できる魅力が無ければ、ただの通過点となり、期待される効果は得られません。

中部横断道の全線開通を見据え、中京圏からの玄関口である峡南地域の観光や新しい産業が地域に芽吹く未来に対し、期待が高まります。

### 現状の時間圧(品川起点、鉄道+道路)



### リニア名古屋開業時の時間圧



リニア中央新幹線の開業は本県にとって大きな期待が寄せられます。

## 商店街活性/賑わい創出

各地で大型店の出店や構造的な課題による商店街の奮闘が伝えられています。

チャレンジショップや開業支援など積極的な活動を行っている事例や賑わい創出に努力している事例など多様です。



紙のまち生き生きまつり(29年3月)



金曜どうでしょう(29年8月)

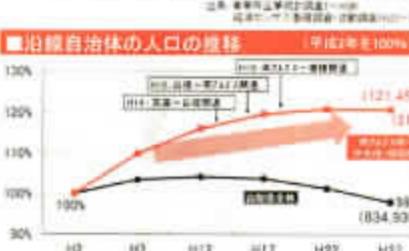
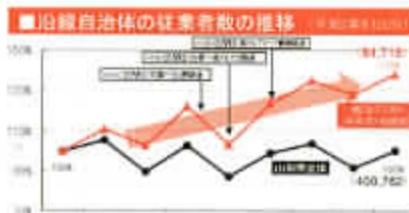
市川三郷町での賑わい創出の事例。



各地の先進的な賑わい創出事業

## 中部横断道の進捗状況

中部横断道開通に伴い、過去25年で沿線市町の人口や従業者数に変化が現れています。全線開通により更なる進展が期待されます。受け皿としての体制整備に地域内での充実した議論が必要です。



中部横断道の開通によるストップ効果が貫通後にも期待されます。

中部横断新自動車道(新清水JCT~富沢IC)進捗状況(H29.10.末時点)



中部横断自動車道(富沢IC~六郷IC)進捗状況(H29.10.末時点)



中部横断道の進捗状況は、27トンネルの内20トンネルが貫通

平成29年10月に県境の樽峠トンネル(4999m)が貫通し、六郷・新清水間27トンネルのうち20トンネルが貫通しています。着実に全線開通へと進捗しています。

## 地域連携推進会議

県では、地域県民センターに「地域創生連携会議」を設置し、官民協働で、地域資源の掘り起こしや地域課題に関する情報収集を行い、その課題解決に向けた取り組みを進めています。

岐南地域では、NPO法人や商工会などで活躍する女性と行政との意見交換会が開催され、地域が自主的に地域活性化に取り組んでいくという機運の醸成が図られています。



岐南地域における「地域連携推進会議」のようす。

## 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊は、地方自治体が地域外の人材を受け入れ、地域協力活動に従事しながら、地域への定住・定着を図る取り組みです。

平成28年度には、全国で3978人まで広がり、国では今後更なる拡充を図ります。

また、任期終了後約6割が、活動していた市町村などに定住していて、隊員の多くが若者たちである事を考慮すれば、若者の地域への定住・定着を図る上でも効果的です。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
隊員数	89人	257人	413人	617人	978人	1511人	2625人



岐南地域における「地域連携推進会議」のようす。

## アイディア創出

子どもたちが地域を思い、夢を語る姿に感動。

平成28年11月に調査した市川高校でのアクティブラーニングによる授業とRESAS活用による研究発表から、1年。身延高校が「地方創生☆政策アイディアコンテスト」で最終審査に進出しチームラボ賞を受ける快挙がありました。



## 防災基本条例



山梨県防災基本条例について協議する  
県議会全員協議会(平成29年12月)

県は、本年度、自助、共助、公助が一体となった防災対策を総合的に推進していくため「防災基本条例」の制定を目指しています。

県民、事業者、自主防災組織等の役割や県の責務を明確にし、防災対策の重要性を再認識する事と共に自助、共助の取り組みの促進を目的としています。



県議会に示された山梨県防災基本条例骨子案(平成29年12月県議会全員協議会)

## 地域防災力強化 女性消防隊の加入促進



女性消防団員の活動のようす(市川三郷町女性消防隊)

女性や子ども、高齢者などに細やかな心配りができる女性消防団員の役割が注目されています。

地域の防災力を強化していくため、女性消防団員の役割は重要な進展が求められます。

## 安心安全な県土づくり

県は、県内外で頻発する集中豪雨などの状況を踏まえ、緊急点検を実施。早急に防災対応や安全安心の強化を図る必要がある箇所を対象に公共事業を実施します。

経済活動に重要な道路修繕については路面の修繕。河川については、洪水時に氾濫を助長する可能性のある支障木や河床の対策工事を行います。

早急に防災対策や安全安心の強化策を図る必要があると判断された諒南地域の対策必要箇所

平成30年度工事補正予算  
総額 1,000億円を予定

主な整備

## 災害時の心のケア対策

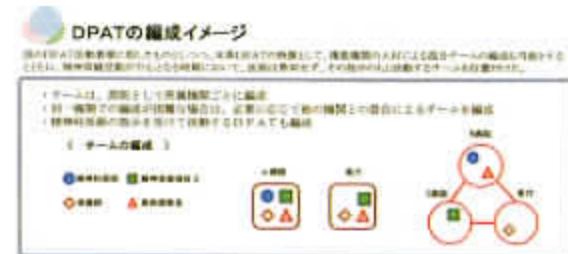


災害派遣精神医療(DPAT)の活動のようす

災害対策を円滑に進めるためには、地域防災力の強化に加え、被災者や、被災者を支援する方に対する心のケアを適時・適切に行う事が必要です。

被害が甚大である場合、そのショックから心身に不調を来す方も多く、また、いつまでも刻み込まれ精神疾患に陥ることもあります。

県は、県内外の災害時を想定した心のケアマニュアルを策定します。



### 12月補正予算(県単独公共事業)

道路修繕費	25箇所 5億円(県全体)
国道140号市川三郷町高田	麻績市川三郷富士川線
県道南アルプス富士川線	麻績市川三郷身延線
河川維持修繕費	55箇所 7億円(県全体)
押出川	猪籠沢川
早川	手打沢川
常盤川	大久保沢川
西川	戸栗川
大樹川	戸川

## 防災関係施設への調査

空からの消火活動や救急搬送、救助活動など県民の安全安心を確保し地域を守るために大きな役割を果たしている消防航空隊の現地調査や県内外の防災関係施設など機会があれば積極的に調査し議会や委員会の活動に反映しています。



総務委員会による県消防航空隊への調査(平成29年11月)



自民党誠心会による福岡県緊急物資輸送センターへの調査(平成29年11月)



# 防災減災へ向けて

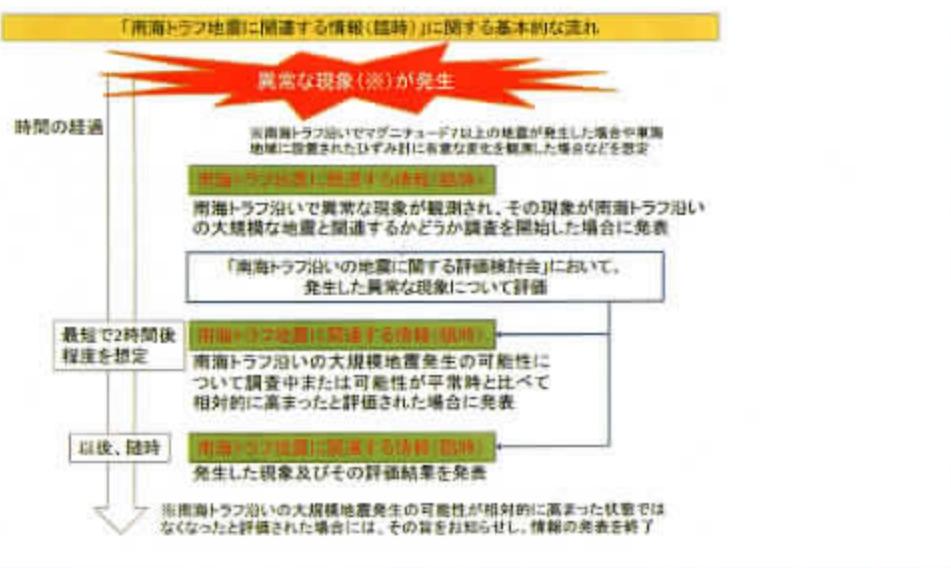
## 地震防災訓練

断層型地震を想定した訓練が平成29年11月に、県と笛吹市の主催で行われました。観光地という特性から、観光客を想定した避難所対応や外国人への対応も含まれる充実した内容でした。訓練を通して地域の防災体制の確立や住民意識の高揚が期待されます。



## 地震予知から緊急対応へ

発生の切迫性が指摘されている東海地震(南海トラフ大地震)について、国は、地震予測を前提とした防災対応を見直し、何らかの異常現象が観測された場合、緊急的な対応を実施する方向に転換し、内容が検討されています。



## 災害に強い地域づくりのために

日時：平成29年11月26日(日) 午前8時30分から  
会場：石和中学校グラウンド 他  
主催：山梨県・笛吹市

山梨県と笛吹市により、「曾我丘陵断層帯」付近を震源とする直下型地震を想定した地震防災訓練を実施します。地震による、災害発生から復旧までの対応を実践的に行うことと、地域防災力の向上及び防災関係機関との連携を図ると共に、展示・体験・啓発を通じ、住民の方々の防災意識の高揚を図ることを目的としています。

## 弾道ミサイルを想定した避難訓練

### 弾道ミサイルを想定した避難訓練について

平成29年12月10日(日) 8:30～  
身延町豊岡地区

来るべき時を想定した訓練が山梨市(平成29年10月)・身延町(同年11月)の中学校で行われ、12月には身延町内で住民を対象にした訓練が行われました。

緊迫する社会情勢で有ってはならない事態への対応も、今後は、各地で行う必要性に迫られています。



弾道ミサイルに係る全国瞬時警報システム(アラート)による対応を訓練。  
(平成29年12月 身延町内)

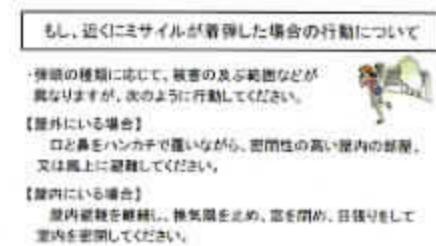
### 適切な避難行動とは？①



### 適切な避難行動とは？②



### 適切な避難行動とは？③



現在示されている避難行動

## 要望・提言



平成29年12月、自民党山梨県支部連合会の政策提言案を総務部会長として取り組んだ35項目からなる政策提言書と各種団体(51団体、445項目)からの要望を取りまとめ、知事に提出いたしました。

県政課題について政策提言書提出(平成29年12月)

政策提言	
1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12
13	14
15	16
17	18
19	20
21	22
23	24
25	26
27	28
29	30
31	32
33	34
35	36
37	38
39	40
41	42
43	44
45	46
47	48
49	50
51	52
53	54
55	56
57	58
59	60
61	62
63	64
65	66
67	68
69	70
71	72
73	74
75	76
77	78
79	80
81	82
83	84
85	86
87	88
89	90
91	92
93	94
95	96
97	98
99	100

## 議員活動



いきいきねんりんピック開会式  
(平成29年9月 小瀬グラウンド)



市川大門老人クラブ運動会  
(平成29年10月)



安全安心まちづくり山梨県民大会  
(平成29年10月 桃源郷文化ホール)



大門碑林全国書道展  
(平成29年11月)



私学振興関係団体との意見交換会  
(平成29年11月)



県消防航空隊を調査  
(平成29年11月)



六郷の里ハンコの秋まつり  
(平成29年11月)



富士吉田警察署建設竣工式  
(平成29年11月)



法人会連合会税制委員会からの要望受理  
(平成29年11月)



J.A中央会との意見交換会  
(平成29年11月 甲府市内JA会館)



ミクニワールドスタジアム政務調査  
(平成29年11月)



市川三郷町大同地区無火災祈願祭  
(平成29年12月)



大塚にんじん収穫祭  
(平成29年12月 みたまの湯)



国土交通省甲府河川国道事務所との打ち合わせ  
(平成29年12月)



弾道ミサイル避難訓練  
(平成29年12月 身延町内)



長野県佐久市岩村田商店街の調査  
(平成29年12月)



市川三郷町消防団 出初式  
(平成30年1月)



市川三郷町 成人式典  
(平成30年1月)